

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔超音波センター〕

指標名

下肢静脈超音波の予約枠増枠と検査件数の増加

目標・ゴール

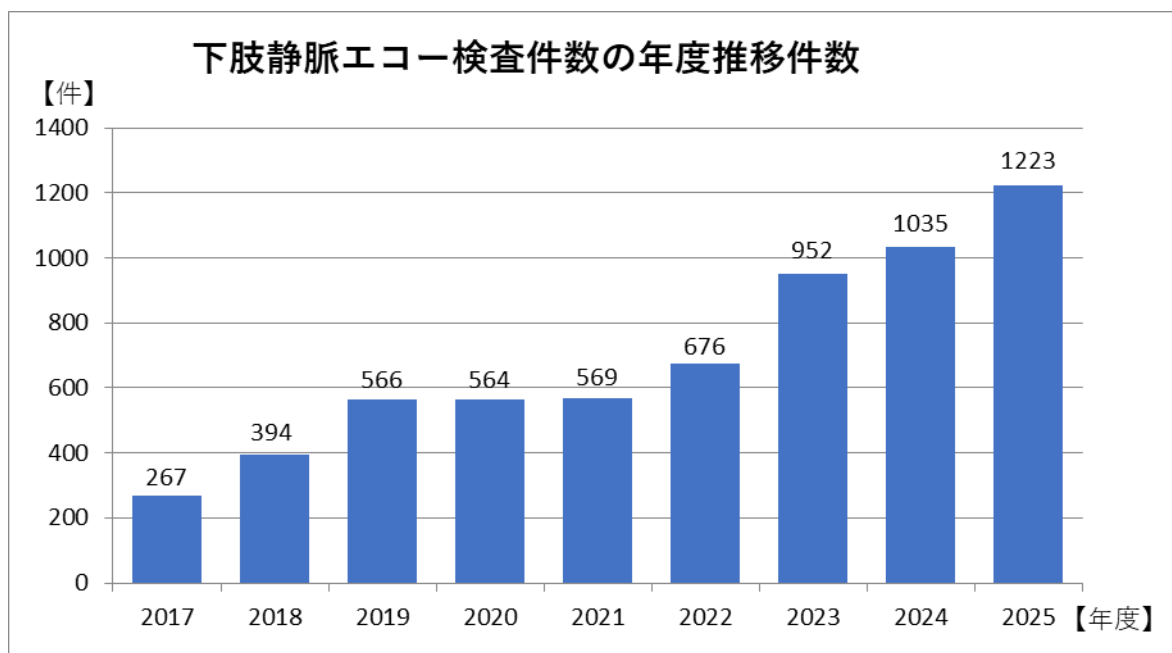
下肢静脈超音波の検査可能な技師を増やし、予約枠の増枠と緊急オーダーへの迅速な対応を行うことで、深部静脈血栓症（DVT）の早期発見と適切な治療介入につなげ、生命に関わる肺血栓塞栓症の予防に貢献する。

目標・ゴール達成による効果

足の血管（深部静脈）に血栓ができると、それが肺に流れて詰まってしまい呼吸困難や突然死をきたすことがある。下肢静脈超音波検査は血栓を非侵襲的に検出できるため、診断・治療に役立ち今後も需要が高まると想定される。

目標・ゴールに対する成果の状況

* 2017 年より予約枠を設定しオープンした。



[成果]

2025 年度の検査件数は 1223 件であり、2024 年度と比較し 188 件の増加が見られた。また年度目標の 1000 件と比較し、約 122%の達成率であった。緊急検査の迅速な対応や土曜日の増枠、技師教育にも積極的に取り組むことが出来た。

目標・ゴール達成度

- ☒S : 大幅に目標を上回った
- ☐A⁺ : 目標を多少上回って達成
- ☐A : 目標を達成
- ☐B⁺ : 目標を少し下回った
- ☐B : 目標を下回った
- ☐C : 目標を大幅に下回った
- ☐ー : 外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

今後も依頼件数は増加すると予想されるが、年間 1000 件程度の検査件数を維持しながら、引き続き技師教育と臨床への貢献度を高めていく予定である。